

会員各位

第 225 回
Klub Zukunft 月例会
- 歴史・文化に親しむ会 -

新緑の候 若葉の輝きも美しい季節となりました。花粉症の方には気の抜けない大変な季節となりましたが、皆様の活動はいかがでしょう？

さて、令和7年5月の第225回月例会は、国立民族学博物館 総合研究大学院大学 名誉教授 藤井龍彦様をお迎えし、「ジャガイモの話-栽培の起源とヨーロッパでの普及」と題してお話しをしていただきます。

「コロンブス交換」という言葉があります。1492年から続いた東半球と西半球の間の植物、動物、食物、人口（奴隷を含む）、病原体、思考などの甚大で広範囲にわたる交換を表現する時に用いられる言葉です。「新世界」へ最初に到達したコロンブスにちなんだ名称で、アメリカの歴史学者アルフレッド・クロスビーによって提唱されました。今回は人類史上大きな意味をもつこの「交換」の中から、ヨーロッパ、とくに北西地域の人々の生活に大きな関係がある「ジャガイモ」をテーマにお話をさせていただきます。

全世界で食べられているジャガイモ。食糧危機の時代の救世主として、又副食物として広く知られている食物。ジャガイモの世界生産高は年間3億7478万トン(2023年統計)でサツマイモの4倍も生産されています。じゃがいも生産高の1位は中国で、2位がインド、3位がウクライナとなっています。この上位3ヶ国で47%の構成になっています。

私どもの最も身近な食物として、再度「ジャガイモ」について、知見を広げてみませんか？

皆様のご参加をお待ちしています。また、皆さまのお友達にも参加の働きかけをしていただき、一緒にご出席いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

- ◆ 日 時： 2025年5月28日（水曜日）
15:30～17:00
- ◆ 場 所： 大阪公立大学 文化交流センター
大阪市北区梅田 1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階
- ◆ テーマ： 「ジャガイモ」の話
～ 栽培の起源と
ヨーロッパでの普及 ～
- ◆ 講 師： 藤井 龍彦（ふじい たつひこ）様
国立民族学博物館
総合研究大学院大学 名誉教授
- ◆ 参加料： 正会員； 500円
賛助会員＆一般； 1,000円
- ◆ 月例会への参加は、下記メールアドレス宛に、
お名前と月例会と懇親会それぞれの出欠をメールにてお知らせください。
klub.zukunft@gmail.com



以上